

平成 28 年 3 月 11 日

公益財団法人日本卓球協会
WASURENAI 3.11 チーム
担当理事 斉藤 一美
リーダー 阿久津しげ子

平成 27 年度活動報告

(1) 「WASURENAI 3.11」

震災復興支援のスローガンとして掲げてきた「WASURENAI 3.11」。

本年度も継続的に全国大会会場にて横断幕を掲出し、日本代表選手はこのロゴを競技ウェアに付け、復興の願いを込めて世界選手権大会並びに国際大会に出場した。

(2) 復興に向けた支援金

①平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く、

43 都道府県登録会員にご協力をお願いした「震災復興支援金」（3 月 7 日現在分） 6,446,478 円

②県のレディース連盟、日本リーグ大会募金、全農杯全日本（ホプス・ガブ・バンビの部）会場

ヤクルト販売の諸経費を除く売上金

383,353 円

3 月 7 日現在、以上合計 6,829,831 円 が寄せられた。

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会には各 2,276,610 円の支援金額分配を行った。

残金は今後新たに寄せられた額と合算した上で分配を行う。

（茨城県卓球連盟からは、ご辞退のお申し出があった）

(3) その他支援

①平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く 43 都道府県登録会員にご協力をお願いした「震災復興支援金」を、引き続き 2 年間・平成 29 年度まで継続し、ご協力をお願いすることとした。

②平成 28 年度～29 年度の 2 年間、本会全国大会の主管地に、大会運営上負担にならない範囲で震災復興支援募金箱の設置をお願いした。

(4) 今後の取り組み

震災から今年で丸 5 年を迎え、各復興県に沿った復興支援サポートに努めた協会事業を進める。

以上